

ワケ カタチには理由がある(38)

～ブリストル・ボーファイター-戦闘機 (Beaufighter)



[前後して開発されたボーフォート雷撃機と。主翼が共通の設計になっていることがわかる↓]



本機は、ブリストル社がボーフォート雷撃機と同時期に開発した戦闘雷撃機。マルタ島の攻防戦など地中海等において、枢軸国の輸送船攻撃に使用されました。爆撃機たるボーフォートと主翼を共通にして開発されただけあって、やはり戦闘機としては大型の機体です。ボーフォートの中翼を改め、低翼としたためか、エンジンナセルが主翼の上方に張り出すように移動しています。そのため、水平尾翼に当たるプロペラ後流が好ましくない影響を与えたのでしょう、水平尾翼の先端を斜め上に持ち上げ、バンザイさせてV字型にしています。付け焼刃的に取付け角度を変えたこの水平尾翼、本来ならあまりカッコよいものではありませんが、丸っこい機首と対となるように個性となって不思議と良い個性を出しているように思います。マルタ島の、埃っぽい飛行場をタキシングしている本機のカラー写真が残っていますが、ミドルストーン/ダークアースの茶色系の迷彩が、その風景にとっても似合ってます。戦闘機とはいえ、どこか土木作業車を連想させる、泥臭い現場感満載の飛行機です。

【模型について】

英国のエアフィックス(Airfix)製 1/72 のインジェクションキットです。ハセガワからも良作が出ていますが、さすが本国の老舗のメーカー、近年の製品はそのデッサンやディテールが素晴らしく、その組み立てやすさも相まって、安心して組むことができます。(中川裕幸 2021年8月)